

令和８年度 第１回長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会 会議録

[日 時] 令和８年５月２２日（金） 午後３時３０分から午後４時１５分まで

[場 所] 長野市ふれあい福祉センター５階 ホール

[出席者] 委 員 １３名中１１名出席

事務局等 保健福祉部長ほか８名

地域包括ケア推進課１名

長野市社会福祉協議会地域福祉課１名

１ 開 会

２ 委員の委嘱

３ 保健福祉部長あいさつ

４ 会長、副会長の選出

５ 会議事項

（１）議事事項

第五次長野市地域福祉計画の策定について

<資料Ｎｏ１>

【事務局】

資料１－１に基づき説明

《質疑応答》

なし

【事務局】

資料１－２に基づき説明

《質疑応答》

【委員】

作業部会の委員の名簿案があるが、住民自治協議会や福祉専門の方は、どのような役職の方を想定されているのか。

【事務局】

地域によって名称は違うが、第四次計画を策定した際に多かったのは福祉部会長や福祉健康部会長、地域によっては会長が参加された地域もあった。

選出は、各住自協にお任せしているが、福祉健康部会長等が多いと思う。

【事務局】

資料 1－3 に基づき説明

【委員】

非常に短い期間でこれだけやるのは大変かと思う。第四次計画の見直しの際、人数が非常に多く、話し合いが進まなかったと聞いている。

事前に地域の中で、今までの計画の見直しや新たな課題の持ち寄りをしてもらわないと、作業部会において意見が出てこないと思うが、そのようにするには期間が厳しい。

第 1 回目作業部会においては、地域の中で意見を取りまとめた、あるいは、それぞれの組織の中で計画内容を煮詰めて、検討し提案するスタイルをお願いしたいが可能か。

また、後半のワークショップについて、形が決まってから開催するのはもったいない。先にワークショップで意見を揉んで、形を作るスタイルもあるが、お考えをお聞かせいただきたい。

【事務局】

期間が大変短いのでスケジュールが非常にタイトということと、第四次の計画を策定したときに、意見がなかなかまとまらなく苦労したというご意見もお聞きしている。

第 1 回作業部会では、中間評価の課題、第四次計画策定時に出た課題も話し合いしやすいような資料を提供させていただくということと、第 1 回目に出し切れなかった課題についても、後日書面で提出いただけるような期間を設け、多くの課題を提出いただけるように考えている。

作業部会の進め方については、今後事務局でも検討していく。

【委員】

作業部会のメンバーは既に決まっているのか。

【事務局】

メンバーについては、先日住民自治協議会全体会で参加をお願いしたところであり、まだ確定はしていない。

確定したところで、第 2 回の前にお知らせする。

【委員】

住民自治協議会から部会長が参加されると思うが、地域福祉ワーカー等、現場で何年もお勤めされている方などが入っていただけるとうれしい。

【事務局】

住民自治協議会から選出していただく方について、役職を指定しているものではないため、ワーカーを選出していただく地区もあるかと思う。

ワーカーについては、連絡調整会議を定期的に行っているため、その中でもご意見を広くいただくように考えている。

【委員】

芹田地区では、地域福祉活動計画を令和8年から令和12年という5か年で、市のものに対して1年先行する形で作っている。

それぞれの地区で計画を作っているか分からないが、市の計画を土台にして作るのが筋という感じもする。市の計画より先行して進むというのはどうなのかお考えをお伺いしたい。

【事務局】

地区活動計画について、32地区の中で、複数年度・単年とどちらもあることは把握している。

長野市地域福祉計画策定の考え方も、それぞれの地区で話し合った地区活動計画に記載のある課題を吸い上げて市全体の地域福祉計画を作る、という下からのボトムアップ型の考え方もあったようだ。ただ、先日も住民自治協議会の全体会で、ある住民自治協議会の会長がおっしゃっていたが、長野市の計画をもとに、それぞれ地区活動計画を作っていくという考え方もあり、どちらの考えが正しいということはない。

第五次地域福祉計画においては、方向性を示し、各地区で地区活動計画を作ってもらえる計画にしたいと思っている。

実際、昨年度計画を作った地区が何か所かある一方、第五次地域福祉計画を見ながら作るというところも多くあると、社協の地域福祉担当からは聞いている。そういったことから、どちらもあるというのが今の現状である。

6 その他

特になし

7 閉 会